

# ひろしまかがり灯の祭典



団体名：一般社団法人 100年後の広島を創ろう委員会  
 (代表 折笠廣司、実行委員長 中島正喜)

団体紹介：原爆ドーム前の元安川にて「かがり灯」を点灯させ犠牲者の追悼・慰霊を行う祭事「ひろしまかがり灯の祭典」を主催しています。

## 活動内容

毎年、8月5日の18:30から原爆ドーム前の元安川の川面・親水テラスにて平和活動の祭事を行っています。元安川の川面に25基のかがり灯を点灯させ8月6日の原爆犠牲者の追悼・慰霊・これからの平和を祈る祭典です。

広島市民・県民の活動としてどなたでも参加ができる団体として組織しています。このような活動を企業ではなく一般市民が立ち上げ、広島から世界へ発信し、よりよい未来を後世に繋いでいきたいと考えています。

2021年8月5日には第7回目になるかがり灯の祭典が開催されました。新型コロナウイルスの感染対策も徹底し、1人の感染者や怪我人を出すことなく、無事祭典を執り行うことができました。

## 今後の課題や展望について

今後かがり灯の祭典を行う上で、人手不足の解消と資金調達が課題となっていくと思います。

かがり灯の祭典では、かがり灯を乗せる土台の組み立てなど、現場での作業を伴います。また夏場の開催のため、炎天下での作業も多くあります。現在若手の人材が不足しているのもあり、今後人材を確保していく必要があると考えます。

また当プロジェクトでは船や照明・音響機材を借りる必要があるため、企業様の協賛、個人様の協賛等ご協力者を増やしていかなければならないという課題に直面しています。

これからの展望としまして、現在広島市長・県知事よりメッセージを頂いており、今後は、国連の方よりメッセージを頂けるよう発信していきたいと思っています。広島から全国、そして世界へ想いを繋ぎ、未来を創っていきたくです。

## 今後の活動について

今後も、毎年8月5日に当プロジェクトを行い原爆犠牲者への追悼・慰霊、またこれからの未来へ向けて平和への祈りを、広島から全国・世界へ発信していきたいです。この活動を8月6日の各新聞社様の朝刊一面に記事にさせていただいたりテレビやインターネットで取り上げて下さる機会が増えたので、さらに活動内容を発信できるツールなども模索していきたいと思っています。

## ▼掲載いただいた新聞記事



21.8.6 読売新聞



21.8.6 中国新聞